

ヒロシマ ユネスコ

広島ユネスコ協会ホームページをご覧ください

(<http://www.unesco.jp/hiroshima/>)

Eメールで情報提供を
(hiroshima@unesco.or.jp)

二十六回目の高校生のつどい 深まっていた国際理解

熱心に討論、元気に街頭募金

ことしも、国際理解に関心をもつ高校生や協会会員が集まって、去る三月二十日、広島市青少年センターにおいて、第二十六回「広島ユネスコ高校生のつどい」が開催されました。今回は例年になく多くの高校生の参加があり、活発な討論、寒い中での街頭募金活動が展開されました。

あり方を考えさせるために毎年行われているもので、二十六回を迎える今年は、四校二十二名の高校生が参加しました。

十時開会。まず、広島ユネスコ協会会長北川建二先生よりご挨拶をいただき、続いて、広島大学大学院博士課程の三人の院生の方に研究発表をしていただきました。研究発表のテーマは、「日清戦争に関する教科書内容」で、日清戦争について、日本・中国・韓国の歴史教科書の記述を比較研究し、東アジア全体で一つの歴史教科書を編纂していくにあたっての課題は何かを明らかにしようとするものでした。発表者の三人は、一人は日本人の岳野寿賀子さん、一人は中国人留学生の千龍範さん、もう一人は韓国人留学生の李紅蘭さんで、テーマも発表者の構成も国際的で、ユネスコが取り上げるべき内容にきわめてふさわしいものでした。発表後、フロアの高校生から活発な質問・意見が寄せられ、非常に中身の

濃い討論となりました。昼食後、天満屋前に移動して、「ユネスコ・コアアクション街頭募金」を行いました。「コアアクション」とは、ユネスコが発展途上国の教育振興と社会開発のために実施している運動で、毎年「高校生のつどい」ではこの趣旨に賛同し、街頭募金を行っています。募金の重点テーマは昨年に引き続き「地球上のすべての人に教育を！」とし、世界寺小屋運動事業の支援のために行うこととしました。

当日は、まだ肌寒さも残るあいにくの天候でしたが、高校生は元気に募金活動を行い、多くの方が快く募金に応じてくださいました。約二時間半で八万五、九二七円の募金をいただき、日本ユネスコ協会連盟に送りました。今後とも国際交流の中心となる人材の育成をはかるべく、また、さらに多くの学校が「つどい」に参加していただけるよう、尽力してまいります。

山頭子、岩崎若葉、奥本和代、吉本恵理子、難波久美子、隅井麻美子、堀友絵梨
(比治山女子高校) (引率・綿井悠子) (ユネスコ協会理事) 木谷えりか、小玉佳苗
(広島学院高校) (引率・佐久間孝之) 田渕俊行、水元大貴、近藤智史、島将明
(広島桜が丘高校) (引率・大谷ひろみ) 山本かおり、中下唯、前川恵美、西村めぐみ、濱波由佳、霜山智美、井川涼子
(白木高校) 教諭・佐々木猛

つどい

「つどい」は、高校生に国際理解の精神を育成し、自主的活動の

参加していただいた学校別の高校生と引率の先生のお名前はつぎのとおりです。(敬称略)

参加していただいた学校別の高校生と引率の先生のお名前はつぎのとおりです。(敬称略)

そして、多くの会員をはじめ関係者のご理解とご協力が、この大会の成功のために必要となります。よろしくお祈りします。



募金活動(コアアクション)をする高校生の皆さん(八丁堀天満屋前)

意見が寄せられ、非常に中身の濃い討論となりました。

参加していただいた学校別の高校生と引率の先生のお名前はつぎのとおりです。(敬称略)

そして、多くの会員をはじめ関係者のご理解とご協力が、この大会の成功のために必要となります。よろしくお祈りします。

第六回新春フェスタ

交歓・交流の場、盛大に

奨励賞表彰と男性コーラス

国際平和文化都市広島市における国際理解・協力・交流の活動を顕彰する広島ユネスコ活動奨励賞（主催／広島ユネスコ協会、後援／広島市教育委員会）の表彰式と新春コンサートを組み合わせた恒例の「ユネスコ新春フェスタ」は、その六回目を迎えて一月十七日、エンジェルパルテで開かれました。

第一部の第五回奨励賞表彰式では、まず、審査委員長の広島大学大学院国際協力科・中山修一教授が受賞団体のそれぞれの活動評価をまじえながら講評され、続いて賞状と記念のブロンズ杯が次の団体に贈られました。

学校部門は四校。広島市立亀山小学校はロシア・ボルゴグラード第81番学校との国際理解と交流活動。同庚午小学校は総合学習などをとおしての国際理解、異文化理解への取り組み。同日浦中学校はアルミ缶を集めて換金、車いすを購入してインドネシアなどへ贈呈。

社会部門は三団体。府中トン

ベックの会は在日コリアンのハルモニたちの読み、書きの学習指導、支援、交流活動。ヤヤサン アニヤマン カシひろしまはインドネシア国内の恵まれな子どもたちへの学資援助活動。日比援助協力はフィリピンのミンドロ島サプライアン市への医療、物資、教育支援活動に対して。

表彰式の最後に受賞団体がそれぞれ活動内容を発表し合いま



府中トンベックの会代表に奨励賞を贈る北川会長

した。

第二部は広島市役所合唱団によるコンサート。広島県合唱コンクールや中国合唱コンクールでの金賞受賞をはじめ、全国大会へもたびたび出場するなど音楽ファンから親しまれ愛され、根強い人気と高い評価を受けている合唱団。

会場のエンジェルパルテのチャペル「パレス セレブレ」は音響効果抜群。ほぼ百席を埋めた参加者は、岡村要さん指揮・竹本順子さん伴奏・広島市役所合唱団の重厚で澄み切った男性コーラスが響きわたるなか、「のばら」「イエスタデイ」「故郷の春」「アオギリのうた」などを楽しみ、また、トークをくださったの後半では「ふるさとの

四季」と題した唱歌メドレーで「春の小川」「茶摘み」「鯉のぼり」「われは海の子」「冬景色」など、ユーモアたっぷりの熱演に惜しめない拍手が送られました。

表彰式、コンサートに続くパーティーは、会場を四階の「デユーク」に移して行われました。多山報恩会の増井清理事長の乾杯の発声で始まり、和やかな雰囲気の中で受賞団体が入れ替わってメンバーの紹介やスピーチをするなど、ユネスコ会員と受賞者との交歓、交流の場は盛り上がり、時間の経つのを忘れるほど。こうして今年も年頭にふさわしい「新春フェスタ」は閉会しました。

（常任理事・井尾義信）

「ぼくらのハンゲル」を終了

グループとして発足

簡単なハンゲルを身につけて、広島を訪れる韓国人をおもてなしするとともに、相互交流を通して国際感覚を養うことを目的に、青少年センターと共催

して、「はじめてのハンゲル」を、昨年十一月二十一日から毎週金曜日（全五回）の夜間、青少年センターで開催いたしました。

今回は十七名の申込みがあり、参加の動機を聞いてみると、韓国に旅行がしたい、興味がある、など。その関心の高さが伺えました。

講師に広島国際大学講師の清水徳之先生をお迎えして、テキストをもとにハンゲルの文字や発音、挨拶、日常会話へと学習

していきました。先生の豊富な経験をもとに、会話も弾み、会話を通して韓国の文化や生活習慣などを知ることができました。終了後は七名が自主グループとして発足しました。

今年度もこの講座を継続して実施するとともに、グループとしてさらに会員を増やしていきたいと思えます。

今後、英会話教室「ひろしまを英語で話そう」とともに、こうした活動を通して青年層へのユネスコ活動に対する理解と関心をもつていただくために、積極的に働きかけ、支援していきたいと考えます。

【活動日】

- ・日時／毎月第一・第三水曜日 十八時三十分から
 - ・場所／青少年センター
 - ・会費／月二千元
- （理事 國田 繁）

二〇〇四年度「はじめての英語で話そう」がスタート

- 日時／四月二十一日から 毎週水曜日（五回） 十八時三十分～
- 場所／青少年センター
- 定員／三十名
- 会費／二千元
- 講師／ひろしま通訳ガイド 協会 梶田祐子氏



常任理事 藤井正一

当協会の藤井正一常任理事(国際部会長)は、去る二月二十三日から韓国大邱広域市にある啓明大学国際学部日本学科の招聘専任教授として招かれ「日本経済と環境問題」などを教えられる予定です。(半年間) 広島ユネスコ協会は、大邱ユネスコ協会と姉妹締結をしているところであり、このことによりますます交流が深まることを期待されます。このたび、藤井氏から大邱便りが届きましたのでご紹介します。 なお、協会のホームページには、藤井氏からの「韓国事情あれこれ」を隔き次第随時掲載していきますのでご覧ください。

【啓明大学校について】

この大学は朝鮮戦争終結後、一九五四年にキリスト教アメリカ・長老派によって大邱広域市に設立されたミッション系の大学

五月二日『大邱の日』

広島市と大邱市との姉妹縁組を契機に始まったこの記念行事は、今年で四回目になります。

広島ユネスコ協会は一回目から積極的に関わってきており、今年も、大邱市にある啓明大学国際学部日本学科の呂博東(ヨウ・ペクトン)教授による講演を提案しています。

行事は、このほか大邱市の海東剣道訪問団による韓国武道の

学で、一九七八年に総合大学に昇格している。現在は二十一の単科大学(全体で十九学部と八十三学科)、十三の大学院を有している。警察学部まである。二万七千人の学生達はキリスト教の精神「真理、正義、愛」というモットーで学んでいる。特に、日本学科(昼夜コース)、大学院日本研究三コース、日本文化研究所は有名である。

【学生気質】

学生に接しての全体的な印象は、学生は大学に年間授業料二百五十万ウォン(約二十五万円)を支払っている。現在、韓国での若年失業率は十三%となっており、大学生の就職も良くな

紹介、チャング演奏、在広韓国留学生との交流、韓国料理と飲み物の試食などがあります。五月二日(日)の午後一時半から広島市留学生会館で開催されますので、参加希望の方は事務局までご連絡ください。

会員増加に一層のご協力を

広島ユネスコ協会では、二〇〇三年度、組織部が中心となつて計画した会員増加の方策に基づいて、役員をはじめ会員の皆

まじめに勉強する姿勢を感じている。広島大学の学生と比較してもかなり真剣さに相違がある。私は、学生の真剣な姿勢に接しながら大学で教えられる喜びを享受している。六月下旬、成績評価をする時、かなり苦労がある。学生達はよい成績評価を得ることを意識している。講義中、詳細に記録しておかないと評価で一部の学生と議論になる。

学生たちは現在の日本人の生活、社会、経済や会社事情、若者の生き方など何でも知りたいという願望は予想以上である。彼らが満足する講義内容にしたいと考えている。

女子学生たちは九十%はジーンズカズボンである。気候的に様に努力していただいた結果、新たに十七名の方の入会をいただきました。ありがとうございました。今後も引き続き目標達成に向かって、協会あげて努力したいと思ひます。皆様の一層のご協力をお願いいたします。

メル・マガ配信希望者を募集しています

広島ユネスコ協会では、昨年度からホームページを公開し、内容の充実を図ってきました。

寒いこともあるが、おしゃれをしていない。一般的に染髪をしたり、化粧している女子学生が非常に少ない。服装は華美でなく、まじめに生きている感じである。私は、少数ではあるが日本の学生たちが、心の美化でなく、外観にこだわる精神に未熟性を感じている。

【大邱ユネスコ協会】

現在、徐千済会長、六名の副会長。会員二十名、二十の高校生から高校生会員二百名。事務局は大邱市民会館の中にある。特色は活発な活動をしている教師会があること。今年八月の高校生ユネスコ熊本大会では二十三名の高校生を派遣する計画。

アクセス件数もかなりの数字となつていますが、今年度は、さらに広くユネスコ活動を理解していただくために、無料のメールマガジンを配信する計画です。広島ユネスコ協会に関するニュース、ホームページの更新のお知らせなどを内容とする予定で

配信を希望されるかたは、サロン出欠返信はがきや電話などで、E・メールか携帯メールのアドレスを事務局までお知らせください。随時配信の予定です。

来年の広島大会には三十名程度の高校生を派遣したい意向。今年度の大きな活動は広島友好訪問団(十八名位)の派遣とできれば「広島を知る講座」も計画したいとのことである。二〇〇六年には「大邱・広島青少年会議」(案)も広島ユネスコ協会に提案し、協議する考えをもっている。

二〇〇四年は、広島ユネスコ協会と大邱ユネスコ協会との交流協定の改定時期にあたるので、双方の意欲的な交流活動を期待したい。

(なお、藤井正一さんのEメールアドレスはつぎのとおりです。交信をどうぞ。 tujin1938@ybn.ne.jp)

2004年度広島ユネスコ協会総会

多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

と き：2004年5月15日(土) 15:10~17:00
と ころ：広島国際学院大学 立町キャンパス
(広島市中区13-7 広島朝日ビル1階)

総会にさきだつて、13:30からユネスコサロンを開催いたします。知人、友人をお誘いください。

命、奪われ／広島 命、捨てた／江田島

杉並ユネスコ青年部
須田恵理(高2)

六年目の杉並ユ協青年部の大
学生、高校生、引率役員の訪問
団十二名が、三月二十九日から
四日間、高橋昭博当協会副会長
の証言、碑巡りなどの広島と江
田島、厳島神社で「学習」。そ
の感想文です。

広島は何回か行って理解して
いく所だと思ふ。被爆した人達
の本当の気持ちを理解すること
は出来ないかもしれない。でも
少しは思いを受け止めることは
出来るのではないかと思ふ。
そんな中で二つのことが印象
に残った。一つは原爆資料館の
市民による絵である。その時の
光景を思い出して描くのはどう
いう気持ちだったろうか。被爆
者の方たちは原爆の記憶や記録
を後世に残さなくてはいけない
という使命感から描かれたもの
だと思ふが、心の中にしまつて
おきたい辛い体験を思い出して
絵にするというのは、平和ボケ
している私には想像出来ないく
らい大変なことだったと思ふ。
絵は悲惨なものばかりで、見る

だけでも耐えられないのに、体
験した人がいるなんて…。

原爆について習ったことは上
っ面だけであつたと分かつた。

「ピカドン」というその瞬間に
今まで動いていた人がいなくな
つてしまふなんて、信じられな
い。たつた一瞬で何が起きたか
分からない、考える余裕もなく
死ぬ。これほど恐ろしいことが
あるだろうか。自分が生きてい
たという証拠さえなくなつてし
まう。亡くなった人だけではな
く、体を蝕まれ続けている人も
多くいる。

一瞬で、こんなにも多くの人
の命、物、思い出を奪つてしま
つた原爆。二度とこのようなこ
とが起きてはいけない。これか
らは、私たちがこの事実を語り
継いでいかななくてはならない。

次に訪ねた江田島の海軍の資
料館には特攻隊員の名前がたく
さん刻まれた石板と遺書が展示
されていた。こんなに多くの入
が国のために自分の身を捨てた
のだ。しかも、私とあまり年齢
が交わらない。それを考えると、
何とも言えない思いで胸が一杯
になつた。遺書は両親に宛てた
ものが多かつた。その中で目を
引いたのは「遺書ナシ」と書か
れたものであつた。今から死ぬ
ことが分かつているのに遺書を

残さないなんて…。自分が同じ
立場に立つた時、自分の意思を
残す最後の機会に何も書かない
ことはできないだろう。もしか
したら「ナシ」ということばに
はもつと深い意味が含まれてい
たのかもしれない。呑気に現代
を生きている私には理解出来な
いくらいの重みがあるのだろう。

現在の広島は原爆の跡が大分
無くなつている。けれども地面
の数十センチメートル下には今
だに原爆の死骸が埋もれてい
る。その上の土を歩きながら、
今私たちが謳歌している平和と
いう幸せは、こんなに大きな犠
牲の上に得られたものであつた
ということを感じてみた。

一九九〇年の国際識字年を契
機として始まつたユネスコ・寺
子屋運動は、民間レベルの識字
教育への協力活動です。

広島ユネスコ協会は、街頭で
募金活動(高校生コーアクション
活動)を行つて成果をあげて
いますが、書き損じはがきによ
る活動はあまり進んでいません
でした。

書き損じはがきとは、住所を
間違えてしまった、印刷しすぎ

書き損じはがき 回収運動

て余つてしまった、古くて使え
ないなどの理由でポストに投函
されていらない未使用の官製はが
きです。

協会の行事に参加されるとき
持参するか、事務局宛直接送る
などの方法でお届けください。

日誌

＜12月＞

17日／英会話グループ発足

20日／平和部会・国際部会「知
つておきたいヒロシマ講座」
について

20日／機関誌58号発行

＜1月＞

17日／ユネスコ新春フェスタ二
〇〇四「ユネスコ活動奨励賞
表彰式・男声合唱団演奏・記
念パーティ」(エンジェルパ
ルテ)

＜2月＞

5日／国際部会 二〇〇四年度
事業計画について

8日／教育・平和部会 全国高
校ユネスコ研究大会について

20日／広報部会 二〇〇四年度
事業計画、機関誌59号につい
て

20日／教育・平和・部長会 全
国高校ユネスコ研究大会につ
いて

25日／安佐中学校総合学習「ユ

ネスコとボランティア」光田
鈿副会長講師

＜3月＞

10日／教育・平和・部長会 全
国高校ユネスコ研究大会準備
会結成について

12日／大邱の日準備会議 松尾
常任理事ほか(国際会議場)

20日／高校生のつどい「日・
中・韓中学校歴史教科書研
究」(青少年センター) コー
アクション、八万五、九二七
円(天満屋八丁掘店前)

27日／ユネスコサロン「折り鶴
を世界の空へ」河本一郎さ
んの生涯に思うこと」広島女
学院・黒瀬真一郎理事長補佐

29日／第六回杉並ユネスコ
協会青年部スタディーツアー
二〇〇四 十二名 高橋副会
長講話、亀井常任理事ほか

第115回ユネスコサロン

と き：2004年5月15日(土)
13：30～15：00

ところ：広島国際学院大学
立町キャンパス
(広島市中区13-7
広島朝日ビル1階)

テーマ：世界の集落・遺跡を訪ねて
講師：広島大学大学院教授・洋画家
難波平人さん